



平成 21 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ビックカメラ  
代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
(コード番号：3048 東証一部)  
問合せ先 常務取締役経営企画本部長  
兼経理本部長 金澤 正晃  
T E L 03-3987-8785

(訂正) 「平成 19 年 8 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)」の一部訂正について

当社は、平成 20 年 12 月 25 日付「過年度決算の訂正について」および平成 21 年 1 月 16 日付「過年度決算の訂正に伴う影響額について」にてお知らせのとおり、過年度決算を訂正することについて決定し、自主訂正作業を進めてまいりました。今般、過年度決算の具体的な訂正内容が確定いたしましたので、下記のとおりご報告申し上げます。

なお、訂正箇所が多岐にわたっており正誤表による形式では分かりづらくなることから、訂正後と訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

訂正をおこなう四半期財務・業績の概況 (連結) の概要

決算期：平成 19 年 8 月期第 1 四半期 (平成 18 年 9 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)

公表日：平成 19 年 1 月 5 日

以 上

[訂正後]



## 平成19年8月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月5日

上場会社名 株式会社ビックカメラ 上場取引所 JASDAQ  
コード番号 3048 本社所在都道府県 東京都  
(URL <http://www.biccamera.com/>)  
代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 宮嶋 宏幸  
問合せ先責任者 役職名 常務取締役経理本部長兼経理部長 氏名 金澤 正晃  
TEL (03) 3987-8785

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

- ・法人税等の計上基準、引当金の計上基準については、簡便的な方法を採用しております。
- ・第1四半期におきましては、実地棚卸は行わず帳簿棚卸残高によっております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 18社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 0社

・連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

(内容)

前連結会計年度まで非連結子会社でありました株式会社ジェービーエスは、重要性が増したため、当第1四半期より連結の範囲に加えております。

### 2. 平成19年8月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年9月1日～平成18年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年8月期第1四半期	121,471	(-)	2,966	(-)	2,900	(-)	1,284	(-)
18年8月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 18年8月期	493,957		14,948		13,639		6,202	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年8月期第1四半期	1,698	63	-	-
18年8月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 18年8月期	9,612	76	-	-

(注) 1. 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[訂正後]

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年9月1日～平成18年11月30日）におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資が増加し、景気は概ね穏やかな回復基調で推移いたしました。企業部門の好調さが家計部門へ波及しているとは言いがたく、個人消費は横ばいで推移いたしました。

当家電小売業界では、昨年に引き続き本年度の地上デジタル放送の開始地域の拡大に伴い、大画面薄型テレビ（液晶テレビ・PDPテレビ等）は店頭価格の下落がありましたが、販売台数の増加により好調に推移いたしました。一方、パソコン関連商品は、新OSの発売延期等により低調でありました。

当社グループにおきましては、大画面薄型テレビに加え、洗濯機、電子レンジ等の高付加価値家庭電化商品、ゲーム機及びゲームソフトの販売が好調でありました。

このような環境下、当社グループは「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」の一層の強化を目指して、価格・品揃え・接客・サービス・店作りにおいて、お客様に更にご満足いただけるよう改善を重ねてまいりました。

店舗展開におきましては、「都市型」×「駅前」×「大型」の店舗を年2店舗程度開店する方針のもと、平成18年9月28日に、JR川崎駅前の商業施設ラゾーナ川崎プラザ内にビックカメラ ラゾーナ川崎店を開店いたしました。また今後、JR京都駅直結のビックカメラ京都店（平成19年8月開店予定）、JR岡山駅前にビックカメラ岡山店（平成19年11月開店予定）を計画しており、連結子会社である株式会社ソフマップにおきましては、旧ヤマギワ本店跡地にソフマップ秋葉原新店舗（平成19年9月開店予定）を計画しております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は 1,214億71百万円、営業利益は 29億66百万円、経常利益は 29億円、四半期純利益は 12億84百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年8月期第1四半期	<u>230,279</u>	<u>45,959</u>	<u>18.6</u>	<u>56,734</u> <u>66</u>
18年8月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考) 18年8月期	<u>219,222</u>	<u>44,582</u>	<u>19.1</u>	<u>55,301</u> <u>26</u>

(注) 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績は記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年8月期第1四半期	<u>△5,906</u>	<u>△3,488</u>	<u>2,466</u>	<u>32,603</u>
18年8月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年8月期	<u>8,544</u>	<u>△12,604</u>	<u>9,560</u>	<u>39,515</u>

(注) 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度に比べ 110億57百万円増加（5.0%増）し、2,302億79百万円となりました。

これは主に、年末商戦のための在庫積み増し及び新店舗開店により、たな卸資産が 101億61百万円増加したことによるものであります。

[訂正後]

負債は、前連結会計年度に比べ 96億80百万円増加（5.5%増）し、1,843億20百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加により買掛金が 66億97百万円増加したこと及び当第1四半期末における法人税支払等により有利子負債が 47億7百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ 13億77百万円増加（3.1%増）し、459億59百万円となりました。

これは主に、剰余金の配当が7億56百万円あったものの、四半期純利益 12億84百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が5億50百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 69億12百万円減少し、326億3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は 59億6百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が 28億19百万円になったこと及び仕入債務が 66億42百万円増加したものの、たな卸資産が 101億60百万円増加し、法人税等の支払額が 34億20百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 34億88百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出 18億17百万円及び保証金の支払による支出 14億39百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は 24億66百万円となりました。

これは主に、長期借入金が 49億30百万円減少（純額）したものの、短期借入金が 89億29百万円増加（純額）したことによるものであります。

3. 平成19年8月期の連結業績予想（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	269,700	7,400	3,600
通期	548,000	15,410	7,600

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期）10,050円23銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年8月期の連結業績予想につきましては、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成18年10月16日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料

- ・（要約）四半期連結貸借対照表
- ・（要約）四半期連結損益計算書
- ・（要約）四半期連結株主資本等変動計算書
- ・（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正後]

[添付資料]

当社グループは平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、以下添付資料では前年同四半期は記載しておりません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期末)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金		34,887		41,756
2. 売掛金		17,624		14,856
3. たな卸資産		41,314		31,153
4. その他		14,273		13,825
貸倒引当金		△ 24		△ 16
流動資産合計		108,074		101,575
		46.9		46.3
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	15,593		13,137	
(2) 土地	42,236		42,219	
(3) その他	2,158	59,988	2,033	57,389
2. 無形固定資産				
(1) 連結調整勘定	—		1,315	
(2) のれん	1,241		—	
(3) 借地権	11,797		11,797	
(4) その他	970	14,008	789	13,902
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	17,154		16,308	
(2) 保証金	25,575		24,365	
(3) その他	6,159		6,312	
貸倒引当金	△ 680	48,208	△ 631	46,355
固定資産合計		122,205		117,646
		53.1		53.7
資産合計		230,279		219,222
		100.0		100.0

[訂正後]

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期末)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	48,048		41,350	
2. 短期借入金	23,423		14,494	
3. 一年内返済予定長期借入金	22,381		24,438	
4. 一年内償還予定社債	2,450		2,500	
5. 未払法人税等	1,456		4,157	
6. 賞与引当金	2,340		1,476	
7. ポイント引当金	11,383		11,353	
8. 修理保証引当金	70		100	
9. その他	9,786		9,983	
流動負債合計	121,340	52.7	109,854	50.1
II 固定負債				
1. 社債	13,979		14,815	
2. 長期借入金	43,196		44,475	
3. 繰延税金負債	—		610	
4. 退職給付引当金	3,268		3,150	
5. 役員退職慰労引当金	519		503	
6. その他	2,016		1,231	
固定負債合計	62,979	27.3	64,786	29.6
負債合計	184,320	80.0	174,640	79.7
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	12,548	5.4	12,548	5.7
2. 資本剰余金	12,122	5.3	12,122	5.5
3. 利益剰余金	16,026	7.0	15,492	7.1
株主資本合計	40,696	17.7	40,163	18.3
II 評価・換算差額等				
1. その他有価証券評価差額金	2,205	1.0	1,655	0.7
評価・換算差額等合計	2,205	1.0	1,655	0.7
III 少数株主持分	3,056	1.3	2,763	1.3
純資産合計	45,959	20.0	44,582	20.3
負債純資産合計	230,279	100.0	219,222	100.0

〔訂正後〕

2. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	121,471	100.0	493,957	100.0
II 売上原価	92,542	76.2	376,233	76.2
売上総利益	28,929	23.8	117,723	23.8
III 販売費及び一般管理費	25,963	21.4	102,774	20.8
営業利益	2,966	2.4	14,948	3.0
IV 営業外収益	762	0.6	2,193	0.5
V 営業外費用	827	0.7	3,502	0.7
経常利益	2,900	2.4	13,639	2.8
VI 特別利益	0	0.0	543	0.1
VII 特別損失	81	0.1	1,392	0.3
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,819	2.3	12,790	2.6
税金費用	1,241	1.0	6,367	1.3
少数株主利益(△)	△ 293	△ 0.2	△ 220	△ 0.0
四半期(当期)純利益	1,284	1.1	6,202	1.3

[訂正後]

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期(自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年8月31日残高(百万円)	12,548	12,122	15,492	40,163	1,655	2,763	44,582
当第1四半期中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△ 756	△ 756	—	—	△ 756
四半期純利益	—	—	1,284	1,284	—	—	1,284
新規連結による剰余金の増加 高	—	—	5	5	—	—	5
株主資本以外の項目の当第1 四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	550	293	843
当第1四半期中の変動額合計 (百万円)	—	—	533	533	550	293	1,377
平成18年11月30日残高(百万円)	12,548	12,122	16,026	40,696	2,205	3,056	45,959



[訂正後]

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)	(参考) 平成18年8月期
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,819	12,790
2. 減価償却費	458	1,827
3. 減損損失	—	1,083
4. 連結調整勘定償却額	—	134
5. のれん償却額	70	—
6. 貸倒引当金の増減額	57	66
7. 賞与引当金の増減額	863	476
8. ポイント引当金の増減額	30	1,218
9. 修理保証引当金の増減額	△ 30	△ 80
10. 退職給付引当金の増減額	118	371
11. 役員退職慰労引当金の増減額	16	112
12. 受取利息及び受取配当金	△ 20	△ 192
13. 支払利息	570	2,469
14. 為替差損益	3	△ 23
15. 固定資産売却益	—	△ 40
16. 固定資産売却損	—	8
17. 固定資産除却損	1	20
18. 投資有価証券売却益	△ 0	△ 391
19. 投資有価証券売却損	—	144
20. 投資有価証券評価損	—	10
21. 売上債権の増減額	△ 2,097	△ 941
22. たな卸資産の増減額	△ 10,160	△ 1,565
23. 仕入債務の増減額	6,642	949
24. その他	△ 1,264	△ 693
小計	△ 1,921	17,751
25. 利息及び配当金の受取額	16	200
26. 利息の支払額	△ 581	△ 2,532
27. 法人税等の支払額	△ 3,420	△ 6,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,906	8,544

[訂正後]

	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)	(参考) 平成18年8月期
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の預入による支出	△ 43	△ 856
2. 定期預金の払戻による収入	—	44
3. 有形固定資産の取得による支出	△ 1,817	△ 3,501
4. 有形固定資産の売却による収入	—	585
5. 無形固定資産の取得による支出	△ 215	△ 635
6. 投資有価証券の取得による支出	△ 12	△ 8,937
7. 投資有価証券の売却による収入	0	737
8. 出資金の回収による収入	—	36
9. 保証金の支払による支出	△ 1,439	△ 895
10. 保証金の返還による収入	226	1,340
11. 貸付による支出	△ 20	△ 4,693
12. 貸付の回収による収入	100	3,075
13. 連結子会社株式の追加取得による支出	—	△ 353
14. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の追加取得による収入	—	1,349
15. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	37
16. その他	△ 268	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,488	△ 12,604
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	8,929	△ 2,843
2. 長期借入れによる収入	4,162	18,010
3. 長期借入金の返済による支出	△ 9,092	△ 28,958
4. 社債の発行による収入	—	3,247
5. 社債の償還による支出	△ 886	△ 2,540
6. 株式の発行による収入	—	22,858
7. 配当金の支払額	△ 647	△ 158
8. その他	—	△ 56
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,466	9,560
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	23
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 6,932	5,524
VI 現金及び現金同等物の期首残高	39,515	33,182
VII 合併による現金及び現金同等物の増加額	—	198
VIII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	19	611
IX 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	32,603	39,515



## 平成19年8月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月5日

上場会社名 株式会社ビックカメラ 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 3048 本社所在都道府県 東京都  
 (URL <http://www.biccamera.com/>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 宮嶋 宏幸  
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役経理本部長兼経理部長 氏名 金澤 正晃  
 TEL (03) 3987-8785

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

- ・法人税等の計上基準、引当金の計上基準については、簡便的な方法を採用しております。
- ・第1四半期におきましては、実地棚卸は行わず帳簿棚卸残高によっております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 13社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 0社

・連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

(内容)

前連結会計年度まで非連結子会社でありました株式会社ジェービーエスは、重要性が増したため、当第1四半期より連結の範囲に加えております。

## 2. 平成19年8月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年9月1日～平成18年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年8月期第1四半期	117,669	(-)	2,148	(-)	2,491	(-)	1,266	(-)
18年8月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 18年8月期	480,453		12,084		12,729		6,007	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年8月期第1四半期	1,674	55	-	-
18年8月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 18年8月期	9,310	57	-	-

(注) 1. 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[訂正前]

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年9月1日～平成18年11月30日）におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資が増加し、景気は概ね穏やかな回復基調で推移いたしました。企業部門の好調さが家計部門へ波及しているとは言いがたく、個人消費は横ばいで推移いたしました。

当家電小売業界では、昨年に引き続き本年度の地上デジタル放送の開始地域の拡大に伴い、大画面薄型テレビ（液晶テレビ・PDPテレビ等）は店頭価格の下落がありましたが、販売台数の増加により好調に推移いたしました。一方、パソコン関連商品は、新OSの発売延期等により低調でありました。

当社グループにおきましては、大画面薄型テレビに加え、洗濯機、電子レンジ等の高付加価値家庭電化商品、ゲーム機及びゲームソフトの販売が好調でありました。

このような環境下、当社グループは「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」の一層の強化を目指して、価格・品揃え・接客・サービス・店作りにおいて、お客様に更にご満足いただけるよう改善を重ねてまいりました。

店舗展開におきましては、「都市型」×「駅前」×「大型」の店舗を年2店舗程度開店する方針のもと、平成18年9月28日に、JR川崎駅前の商業施設ラゾーナ川崎プラザ内にビックカメラ ラゾーナ川崎店を開店いたしました。また今後、JR京都駅直結のビックカメラ京都店（平成19年8月開店予定）、JR岡山駅前にビックカメラ岡山店（平成19年11月開店予定）を計画しており、連結子会社である株式会社ソフマップにおきましては、旧ヤマギワ本店跡地にソフマップ秋葉原新店舗（平成19年9月開店予定）を計画しております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は 1,176億69百万円、営業利益は 21億48百万円、経常利益は 24億91百万円、四半期純利益は 12億66百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年8月期第1四半期	<u>200,410</u>	<u>44,380</u>	<u>21.4</u>	<u>56,788</u> <u>27</u>
18年8月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考) 18年8月期	<u>190,639</u>	<u>43,262</u>	<u>22.0</u>	<u>55,378</u> <u>95</u>

(注) 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績は記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年8月期第1四半期	<u>△6,355</u>	<u>△2,951</u>	<u>2,330</u>	<u>26,147</u>
18年8月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年8月期	<u>7,336</u>	<u>△12,177</u>	<u>10,182</u>	<u>33,108</u>

(注) 当社グループは、平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、比較すべき前年同四半期実績は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度に比べ 97億70百万円増加（5.1%増）し、2,004億10百万円となりました。

これは主に、年末商戦のための在庫積み増し及び新店舗開店により、たな卸資産が 96億42百万円増加したことによるものであります。

[訂正前]

負債は、前連結会計年度に比べ 86億53百万円増加（5.9%増）し、1,560億29百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加により買掛金が 63億45百万円増加したこと及び当第1四半期末における法人税支払等により有利子負債が 45億70百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ 11億17百万円増加（2.6%増）し、443億80百万円となりました。

これは主に、剰余金の配当が7億56百万円あったものの、四半期純利益 12億66百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が5億50百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 69億60百万円減少し、261億47百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は 63億55百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が 24億10百万円になったこと及び仕入債務が 62億90百万円増加したものの、たな卸資産が 96億42百万円増加し、法人税等の支払額が 33億47百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 29億51百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出 16億54百万円及び保証金の支払による支出 14億2百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は 23億30百万円となりました。

これは主に、長期借入金が 52億4百万円減少（純額）したものの、短期借入金が 83億88百万円増加（純額）したことによるものであります。

3. 平成19年8月期の連結業績予想（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	269,700	7,400	3,600
通期	548,000	15,410	7,600

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期）10,050円23銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年8月期の連結業績予想につきましては、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成18年10月16日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料

- ・（要約）四半期連結貸借対照表
- ・（要約）四半期連結損益計算書
- ・（要約）四半期連結株主資本等変動計算書
- ・（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

[添付資料]

当社グループは平成19年8月期より第1四半期連結財務諸表を作成しているため、以下添付資料では前年同四半期は記載しておりません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期末)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金		28,383		35,300
2. 売掛金		15,933		13,413
3. たな卸資産		39,997		30,354
4. その他		14,310		14,209
貸倒引当金		△ 24		△ 16
流動資産合計		98,600		93,262
		49.2		48.9
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	11,260		8,785	
(2) 土地	29,936		29,919	
(3) その他	1,855	43,052	1,852	40,556
2. 無形固定資産				
(1) 連結調整勘定	—		1,315	
(2) のれん	1,241		—	
(3) その他	3,737	4,978	3,561	4,876
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	17,139		16,305	
(2) 保証金	28,094		26,920	
(3) その他	10,926		11,048	
貸倒引当金	△ 2,380	53,779	△ 2,331	51,943
固定資産合計		101,809		97,376
		50.8		51.1
資産合計		200,410		190,639
		100.0		100.0

[訂正前]

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期末)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	46,929		40,583	
2. 短期借入金	21,653		13,265	
3. 一年内返済予定長期借入金	22,281		24,338	
4. 一年内償還予定社債	1,090		1,140	
5. 未払法人税等	1,311		4,083	
6. 賞与引当金	2,333		1,472	
7. ポイント引当金	11,383		11,353	
8. 修理保証引当金	70		100	
9. その他	9,235		9,596	
流動負債合計	116,288	58.0	105,932	55.6
II 固定負債				
1. 社債	2,269		2,425	
2. 長期借入金	32,578		34,132	
3. 退職給付引当金	3,268		3,150	
4. 役員退職慰労引当金	519		503	
5. その他	1,105		1,232	
固定負債合計	39,740	19.9	41,443	21.7
負債合計	156,029	77.9	147,376	77.3
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	12,548	6.3	12,548	6.6
2. 資本剰余金	12,122	6.0	12,122	6.4
3. 利益剰余金	16,067	8.0	15,551	8.1
株主資本合計	40,737	20.3	40,221	21.1
II 評価・換算差額等				
1. その他有価証券評価差額金	2,205	1.1	1,655	0.9
評価・換算差額等合計	2,205	1.1	1,655	0.9
III 少数株主持分	1,437	0.7	1,385	0.7
純資産合計	44,380	22.1	43,262	22.7
負債純資産合計	200,410	100.0	190,639	100.0

[訂正前]

2. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)		(参考) 平成18年8月期	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	117,669	100.0	480,453	100.0
II 売上原価	89,326	75.9	364,296	75.8
売上総利益	28,342	24.1	116,156	24.2
III 販売費及び一般管理費	26,194	22.3	104,072	21.7
営業利益	2,148	1.8	12,084	2.5
IV 営業外収益	975	0.8	3,386	0.7
V 営業外費用	632	0.5	2,741	0.6
経常利益	2,491	2.1	12,729	2.6
VI 特別利益	0	0.0	543	0.1
VII 特別損失	81	0.1	1,392	0.2
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,410	2.0	11,880	2.5
税金費用	1,091	0.9	6,089	1.2
少数株主損失又は少数株主 利益(△)	△ 52	△ 0.0	217	0.0
四半期(当期)純利益	1,266	1.1	6,007	1.3



[訂正前]

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期(自 平成18年9月1日 至 平成18年11月30日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年8月31日残高(百万円)	12,548	12,122	<u>15,551</u>	<u>40,221</u>	1,655	<u>1,385</u>	<u>43,262</u>
当第1四半期中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△ 756	△ 756	—	—	△ 756
四半期純利益	—	—	<u>1,266</u>	<u>1,266</u>	—	—	<u>1,266</u>
新規連結による剰余金の増加 高	—	—	5	5	—	—	5
株主資本以外の項目の当第1 四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	550	<u>51</u>	<u>602</u>
当第1四半期中の変動額合計 (百万円)	—	—	<u>515</u>	<u>515</u>	550	<u>51</u>	<u>1,117</u>
平成18年11月30日残高(百万円)	12,548	12,122	<u>16,067</u>	<u>40,737</u>	2,205	<u>1,437</u>	<u>44,380</u>

[訂正前]

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)	(参考) 平成18年8月期
	金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,410	11,880
2. 減価償却費	381	1,559
3. 減損損失	—	1,083
4. 連結調整勘定償却額	—	134
5. のれん償却額	70	—
6. 貸倒引当金の増減額	57	66
7. 賞与引当金の増減額	861	474
8. ポイント引当金の増減額	30	1,218
9. 修理保証引当金の増減額	△ 30	△ 80
10. 退職給付引当金の増減額	118	371
11. 役員退職慰労引当金の増減額	16	112
12. 受取利息及び受取配当金	△ 20	△ 192
13. 支払利息	369	1,677
14. 為替差損益	3	△ 23
15. 匿名組合投資利益	△ 340	△ 1,251
16. 固定資産売却益	—	△ 40
17. 固定資産売却損	—	8
18. 固定資産除却損	1	20
19. 投資有価証券売却益	0	△ 391
20. 投資有価証券売却損	—	144
21. 投資有価証券評価損	—	10
22. 売上債権の増減額	△ 1,850	△ 880
23. たな卸資産の増減額	△ 9,642	△ 1,522
24. 仕入債務の増減額	6,290	1,058
25. その他	△ 1,320	△ 557
小計	△ 2,594	14,877
26. 利息及び配当金の受取額	16	523
27. 利息の支払額	△ 430	△ 1,732
28. 法人税等の支払額	△ 3,347	△ 6,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,355	7,336

[訂正前]

	当第1四半期 (平成19年8月期第1四半期)	(参考) 平成18年8月期
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の預入による支出	△ 43	△ 850
2. 定期預金の払戻による収入	—	44
3. 有形固定資産の取得による支出	△ 1,654	△ 3,183
4. 有形固定資産の売却による収入	—	585
5. 無形固定資産の取得による支出	△ 210	△ 635
6. 投資有価証券の取得による支出	—	△ 8,904
7. 投資有価証券の売却による収入	0	727
8. 出資金の回収による収入	—	36
9. 保証金の支払による支出	△ 1,402	△ 816
10. 保証金の返還による収入	226	1,340
11. 貸付による支出	—	△ 4,693
12. 貸付の回収による収入	100	3,075
13. 連結子会社株式の追加取得による支出	—	△ 353
14. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の追加取得による収入	—	1,349
15. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	37
16. その他	31	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,951	△ 12,177
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	8,388	△ 3,372
2. 長期借入れによる収入	3,862	18,010
3. 長期借入金の返済による支出	△ 9,067	△ 28,814
4. 社債の発行による収入	—	2,955
5. 社債の償還による支出	△ 206	△ 1,240
6. 株式の発行による収入	—	22,858
7. 配当金の支払額	△ 647	△ 158
8. その他	—	△ 56
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,330	10,182
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	23
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 6,980	5,364
VI 現金及び現金同等物の期首残高	33,108	27,545
VII 合併による現金及び現金同等物の増加額	—	198
VIII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	19	—
IX 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	26,147	33,108